

綾部インタラクティブセンター

Ayabe Interactive Center

No. 07-022-2025作成

新築
事務所

発注者	グンゼ株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理 (建築)	株式会社鴻池組 大阪本店一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社鴻池組大阪本店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

環境配慮の形態でファサードと居心地の良い交流空間を創出した事務所

設計主旨

工場敷地内における工場棟などの建物に囲われた部分において、事務所機能と工場職員の方が利用する食堂を集約させる施設の計画である。

工場の新拠点として、従業員の方の交流の場を創出するとともに、快適性、創造性を兼ね備えた職場環境づくりに寄与する施設を目指した。

計画建物の建設予定地は工場敷地の中央部にあたり、道路などの空地に面していなかったことから、計画建物の南側に面してオープンスペースを設けることを重視した。オープンスペースには緑化を施すことで、計画建物の廻りが開放的で安らぎのある印象をもてるように配慮をしている。

1階は食堂が主であるが、インタラクティブなコミュニケーション創出を目的として、昼食以外の時間は会議、講演会、来客対応、サロンおよびリフレッシュエリアとして、多目的に活用できるコミュニケーションスペースのフロアとした。2階は事務所専用のワークスペースフロアとしている。

1階、2階とも、南面のオープンスペースに対して、横連窓の大開口を設けることで、新拠点の室内空間が明るく開放的で、居心地の良い交流空間となることを意図した。



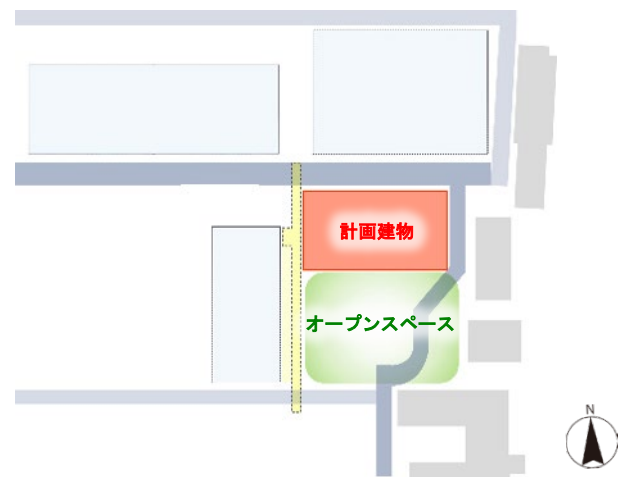
鳥瞰パース



1階エントランスホール



1階コミュニティスペース ~インタラクティブスペース~



計画建物廻り配置図

建物データ	省エネルギー性能
所在地	京都府綾部市
竣工年	2025 年
敷地面積	68,650㎡
延床面積	1,189㎡
構造	S造
階数	地上2階
	BPI (標準入力法) 0.55
	BEI (標準入力法) -0.09
	BELS (第三者評価) ★★★★★
	ZEB

BELS認証『ZEB』の取得

本建物は省エネに努めるとともに太陽光発電を採用することで、エネルギー消費性能が★×6となる『ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)』認証を取得しており、環境に配慮した施設としている。



BELS認証

環境配慮の形態を建物の顔（ファサード）として見せる

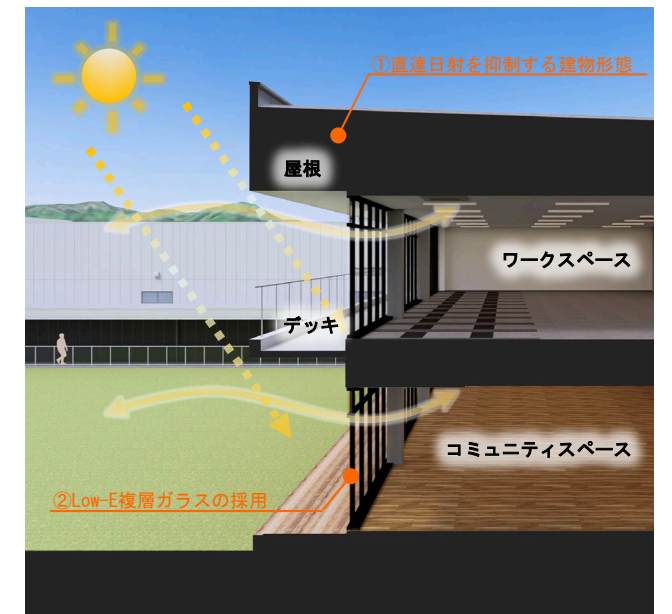
南向きに面して横連窓の大開口を設けたが、庇の機能を果たすように、屋根とデッキを横連窓よりもはね出させることで、太陽の直達日射の室内への入射を抑制させるよう配慮した。この大開口の窓には、Low-E複層ガラスを採用することで、日射負荷の低減を図っている。

この環境へ配慮した形態をそのまま建物の顔として見せることを意図し、白色のロ型の壁とガラス窓というシンプルな構成のファサードとしてまとめあげた。屋根とデッキのはね出しにより、陰影ができ、ファサードには表情もうまれている。既設工場は白を基調とする建物群であったことから、環境配慮の形態部分は白色とし、基壇部は黒色とすることで、ロ型部分を引き立たせる色彩計画とした。

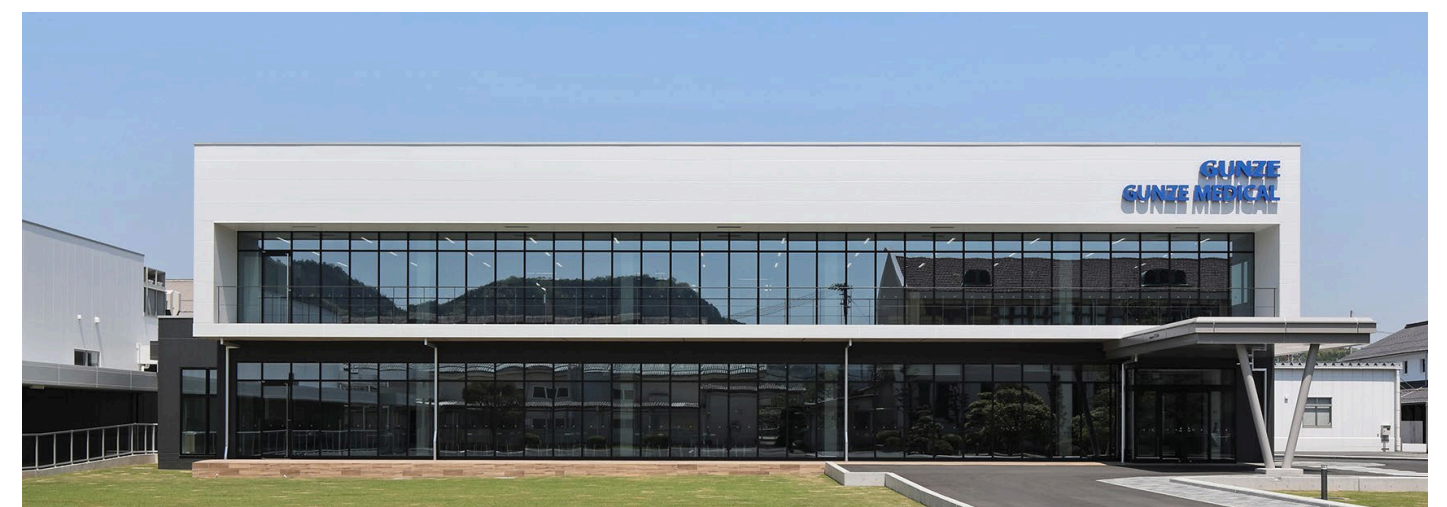
1階コミュニティスペース、2階ワークスペースでは、南面の大開口を介して、オープンスペースの緑が見え、風が流れるようにしており、工場の敷地内でありながらも、自然とのつながりを大切にしたい居心地のよい空間のある事務所とした。



省エネ性能ラベル



南面 断面パース



南面 外観ファサード

設計担当者

統括：白井 明夫/建築：真弓 博行/構造：山本 博之、山崎 航一

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (建物配置・ゾーニング計画)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (ZEB、Low-E複層ガラスの採用、庇形状の建物形態)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (太陽光発電)
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減 (リサイクル材)